

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

3-3

3-3

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	遺跡の保存等に係る調査研究の推進
	節			
事業(施策)名	3 佐渡鉱山関係資料調査		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28~R4	関連団体	県文化行政課、佐渡市社会教育課
事業概要	【事業目的】	○構成資産の価値をより高め、遺跡の保存や整備活用のための基礎資料とするため、佐渡金銀山遺跡に係る調査研究を推進する。		
	【事業内容】	○構成資産に関する文献資料や絵図・図面類等の資料を対象とし、長期的な視点に立った調査研究の計画策定、構成資産の価値を深めるための研究を推進・継続する。		
R元事業計画と実績	【元年度計画】	●世界遺産登録に向けた各種事業の優先順位を整理し、他の事業との調整を図りながら、中・長期の資料調査計画を策定する。		
	【元年度実績】	●各種事業の優先順位を整理し、中～長期的な資料調査の計画を検討した。 ●資料調査に向けた古文書(「川上家文書」)の記録化を実施した。		
課題・今後の取組	【課題】	■金銀山遺跡の全体的な計画内での優先順位が低いため、長期的な事業展開を図る必要がある。 ■調査等の業務分担を含め、関連団体と調査体制について検討する必要がある。		
	【今後の取組】	■他の整備事業等で鉱山関連の資料が必要となった場合、併せて資料調査を実施する。		
事業評価	【事業の達成度】	◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 [a・ b ・c]		
	【事業実施の効果】	[a・ b ・c]		
	【総合評価】	[A・ B ・C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。